

World Sport Fishing Federation Oceania Inc

1/96 Yangoora Crs. Ashmore 4214.Gold Coast Australia Tel: 61-7 55392296 Fax: 61-7-55395103 Mobile: 0419910439 Web: wsffo@tpg.com.au

【船釣り競技規定】

現時点での競技規定であるが、2008 年 8 月 22 日の競技規定の説明会までに変更の可能性があることを了承してください。

競技日程:2008年8月23日(土)~24日(日)

競技会場:ゴールドコーストの東部海域

参加選手:約80名

競技スケジュール:

- 1.競技は組ごとの勝ち抜き戦で行う。各レベルの勝者が次のレベルに進む。競技は予選、準決勝決勝からなる。決勝戦での上位3名に賞金とトロフィーを授与する。
- 2.予選では、80名が10名1組それぞれのボートに乗船し、10組に分かれて競う。 乗船している時間は9時間であり、1時間の試し釣りの後、60分ごとに釣り座を交代しながら 対戦し、競技時間は約5時間になる。競技修了後計量をし、次の対戦に進出する選手を決定 する。

各組の上位3名が準決勝に進む。

- 3.準決勝での乗船時間は5時間。24名の選手が3つの組に分かれ、各ボート8名の選手で対戦する。競技時間は180分で、60分ごとに釣り座を交代する。各組(ボート)の上位3名が決勝戦に進む。
- 4.決勝戦での乗船時間は5時間。一隻に9名の選手が乗船する。競技時間は180分で、60分ごとに釣り座を交代する。上位の3名を決定する。入賞者と参加選手の順位は全競技終了後発表する。

競技規定:

- 1.優先対象魚は:真鯛、アオバダイ、ブダイ
- 2.二次的対象魚:テラグリオン、ブリ、スギ、ヒラマサ、マグロ(さばを除く)
- 3.対象魚以外の魚はすべてリリースする。

- 4. 予選では、優先対象魚を釣れなかった選手は失格となる。
- 5.a. 真鯛の規定長(口先から尾びれの先まで)は36cm(釣り上げた時点)とし、各選手のバッカン当り最大数は5匹とする。
 - b. アオバダイの規定長は36cmとし、バッカン当り最大数は5匹である。
 - c. ブダイの規定長は31cmとし、バッカン当り最大数は6匹である。
 - d. それ以外の二次対象魚種に関しては、クイーンズランド州規制サイズに従う。
- 6.a. 対象魚は実行委員会が準備する計測器を使って、選手自身が計測し、保管するかリリース するかを選手が決める。
 - b. 審判員は魚種と全長を検査し、記録する。
 - c. 選手は、保管される対象魚の一匹ごとに記録表にサインする。(最初に釣り上げた対象魚に関しては、競技規定項目9を参照)
 - d. 審判員は、魚に選手番号の入った札を付け、選手のバッカンに入れる。選手は、バッカン がシールされるまではバッカンに触れてはならない。
 - e. 規定長に満たない優先対象魚、および州法の規定長に達しない二次対象魚は全てリリース すること。
 - f. 全ての対象魚の全長は、重量計量時点で確定する。(収縮もありうる)
 - g. 二次対象魚は最大魚賞の対象とする。以下の場合にのみ保管する。
 - . 死亡しているか、死亡しつつある場合
 - . 最大魚賞獲得が考えられる場合
- 7.対象魚ごとにバッカンの最大数に満ちた場合、その後の同一魚種の魚は全てリリースすること。 最大数を満たした時点での勝敗の確定は無い。順位の決定は、.審査規定に従う。
- 8.後に釣れたより大きな魚を、バッカン内のより小さなものと交換するといった増量操作は認め ない。
- 9. 規定長以下でも、最初に対象魚を釣った選手はそれを計測し、確認のために審判員に渡す。審判員は再度、計測してから釣り上げた時刻とともに、記録カードに記入したのち封をする。 選手、および審判員はカードにサインすること。魚はリリースする。 この手続きを踏まない場合には無効とみなされる。
- 10.選手は自ら釣り具を準備してもよい。仕掛けは選手自身が作り、他の助けを借りてはならない。
 - a. 一時に使うロッドは一竿とし釣り針は2本までとする。
 - b. ルアーの使用は認めない。
 - c. 釣り針は錘より下につけ、枝針をつける際のドロッパーループは 30cm を超えないこと。
 - d. 釣り針とスイベルは選手が準備し、選手自身が装着する。
 - e. メタル、あるいは硬質プラスチック製テンビンの使用は禁止する。
- 11.ボートで準備されているロッドとリールを使用しても良いが、装着は選手自らがすること。
- 12. 道糸はモノフィラメント(単繊維)で 10kg-15kg テストラインを推奨する。
 - a. ロッドは 200cm 以下を推奨する。
 - b. 電動リールおよび、ロッドスタンドの使用は認めない。

- 13. 餌は実行委員会が支給する。ピルチャードまたはイカ。
 - a. ボートで支給されたもの以外の餌及びクランクベイト、プラスチックルアーの使用は認めない。
 - b. フィッシュオイルまたは、集魚剤を餌に加えてはならない。
- 14. 競技に必要な錘は乗船したボートで支給する。(8 オンス~16 オンス/225g~450g)
- 15.全ての対戦で、選手の乗船するボートと釣り座はくじ引きで決定する。くじ引きで番号1を引いた選手がボート上の釣り座1番を確保し、以下番号順に、それぞれ前の選手の右側の釣り座を確保する。各ボートのフィッシングスタイルに従い、船長と審判員の指示で選手は釣り座を移動する。
- 16. 実行委員会が同じボートに乗る選手の数に従って釣り座を定める。船長は釣り座の位置によって特定の選手が不利とならないようにボートを配置する。
- 17. 釣り座の交代の方法は、船先に向かって右回りとする。

例:釣り座 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10 1 3, 2 4, 3 5, 4 6, 5 7,・・10 2

- 18.ボートの移動時、釣り座の交代時および昼食の際にも、競技時間の停止はしない。
- 19. 各競技の開始と終了の時間設定は実行委員会の決めたルールに従う。
- 20.競技に先立ち、実行委員会あるいは審判員がスケジュールにしたがって時間の発表をする。 (気象の影響などで、競技時間が短縮されることもありうる)
 - 1)時間あわせ
 - 2)競技開始時刻
 - 3)釣り座交代の時刻(ボートの新しい釣り場への移動時刻)
 - 4)競技終了時刻

釣り座の移動および競技終了まえの 5 分、10 分前に合図がある。また競技終了前には 5、4、3、2、1 の掛け声をする。選手にこのような方法で合図することと定める。

- 21.競技の開始と終了はホイッスルで合図する。
- 22. ボートの錨の利用は状況に従う。錨の使用、及びボートの場所移動の必要性有無に関してはキャプテンの決定にゆだねる。選手はその決定に従うこと。競技終了のホイスルがあり次第、選手は釣を終了し、道糸を引き上げ錘を船に置くこと。魚がかかっていた場合には、3分以内に引き上げたものを有効とする。
- 23.競技の間は、誰も釣に関して選手を補助してはならない。
- 24. 大型の魚がかかった場合に、ボートの競技役員は状況によって、他の選手全員に道糸の巻上げ を指示することがある。この指示が出された後にかかった魚は無効とする。ホイスルに従って 競技は再開する。

- 25.選手同士の釣り糸が絡まった場合、その時に釣れた魚はポイントに入らない。魚はそのままリリースすること。
- 26.決勝戦では、審判長または副審判長が競技場に同席して競技に立ち会うものとする。
- 27.選手の誰かが競技規定に違反した場合は、直ちに役員までその旨を伝えること。大会委員会は 競技が終了した後での抗議は取り上げない。
- 28.議論が生じた場合は、ボートごとの代表審判員が判断をする。その判定に選手が同意しない場合は閉幕式の5時間前までに文面をもって大会委員会に申し出ること。大会委員会は審判員を召集して事態を協議し、審判委員長が最終判断をくだす。
- 29. 審判委員長はWSFF世界本部が任命し、その他の審判員は開催国が任命する。
- 30. 実行委員会において何らかの見過ごしがあった場合は、連盟理事会を通して、後日それを連絡し公表する。

審查規定:

- 1.対象魚は、真鯛(36m)、アオバダイ(36m)、ブダイ(31m)とする。 判定は総重量をもってする。 総重量が同じ場合は、実行委員会は以下の基準で判定する。
 - a. 選手が選択した3匹の魚の総重量
 - b. 最大魚1匹の重量
 - c. 二番目の魚の重量
 - d. 三番目の魚の重量
 - e. それでも判定できない場合は、くじ引きで勝者を決定する
- 2 . 全ての順位を判定するに十分な規定長以上の魚が釣れなかった場合は、以下の方法で判定する。
 - a. 規定長以下でも、最初に釣り上げた対象魚の全長で判定する。最長の選手が勝者となる。
 - b. 全長が同じ場合は、釣り上げた時刻で判定する。先の選手が勝者となる。
 - c. 全長と時刻が同じ場合は、魚種に従い、真鯛、アオバダイ、ブダイの順番で判定する。
 - d. 全長、時刻、魚種が同じ場合は、くじ引きで勝者を決定する。
- 3. 魚を計測する定規は大会実行委員会で準備したものを使用する。
- 4.計測の前に審判員は魚を3度振って水を切る。それから計測結果を記録カードに記入し、審判員、記録担当者、選手が共にサインする。
- 5.計測前に、魚の口の中に小魚等が入っていないかを確認し、異物がある場合は取り除くこと。
- 6.予選では、魚を釣れなかった選手は失格となる。決勝戦においてのみ、魚を釣れなかった選手 同士の順位決定は、それ以前の対戦で確保した魚の総重量を基準に判定する。
- 7.決勝戦で、参加選手が一人も規定長の対象魚を釣れなかった場合は、30分の延長戦を行い、3

種類の対象魚のどれかを最初に釣り上げた選手がチャンピオンとなる。仮に、同時に釣り上げた場合は、魚の重量で判定する。規定の対象魚が釣れなかった場合は、その大きさにかかわらず対象魚を釣り上げた選手が勝者となる。もし、一人も対象魚を釣れなかった場合は、各選手が準決勝で釣り上げた魚の総重量、または、審査規定項目1の判定基準に従い順位を決定する。

順位の決定:

- 1.規定長以上の対象魚の重量を基準とする。
- 2.規定長以下の対象魚は全長を基準とする。

実行委員会が供与するもの:

- 1)魚を計測するルーラー
- 2) 各選手、バッカン1箱分の餌
- 3)バッカン1個

. 失格規定:

競技規定 項から 項に対し、以下のような行為をもって違反した場合は競技参加資格を失う。

- 1.競技規定以外の方法で魚を釣った
- 2.人為的に魚の重量や全長を増加させた
- 3.他の選手の釣りを妨害したり、魚を追い払うような行為があった
- 4. 審判員の指示外で釣りのポイントを移動した
- 5. 審判員の指示に従わなかった
- 6.他の選手に魚を譲渡した場合、与えた選手、受け取った選手ともに失格となる
- 7.競技開始前に釣り糸を水につけた場合。それが事故であったことが確認された場合は、一旦糸 を引き上げた後、競技に加わる。その際にかかった魚は無効となる
- 8.競技時間の間に、選手のユニフォームを着用しなかった
- 9.競技時間の間、選手のゼッケンが隠れていたり、選手IDを所持していなかった場合
- 10.競技時間の中で飲酒をしたり、不法な薬剤を服用した場合。タレバジェラレクレーションセンターは、禁酒、禁煙となっている。飲酒、喫煙はセンターの敷地外でのみ許される。
- 11.性的、宗教的、人種的暴言、行為など、スポーツマンシップに反する言動で大会の威信を失墜させた
- 12.大きな声で歌を歌うなど、他の選手の集中力を妨げるような行為

- 13.犯罪的な行為
- 14. 上記以外の事柄については、大会委員会が判断する

. 乗船スタッフの責任:

- 1.1千万ドルの一般損害賠償責任保険加入
- 2.安全に関わるすべての法規定並びに船舶操縦規準を遵守する。
- 3.スケジュールに従って出航、帰港すること。
- 4.乗船スタッフは競技規定、審査規定を熟知し、審判員をサポートする。
- 5.各選手に不公平が生じないようにボートの操作を行う。
- 6 . ボート上でのルールに従う釣りの手順を説明し、実演する。
- 7.生餌の使用は認めない。また、クルーは自ら釣りをしてはならない。
- 8.競技が始まってからは、クルーは糸のもつれほどく、選手同士の糸の絡みを解く以外に、餌を付けたり、釣り針の付け替えなど、釣りに関して選手をサポートしてはならない。
- 9. 餌を選手に配布する
- 10.ドリフトをリセットする間に、昼食や飲料水を配布する。
- 11. 行き帰りに、流し釣りなどをしてはならない。
- 12.対象魚を目標として釣り場を選択する。
- 13.対象魚以外の魚はすべてリリースする。死亡する可能性の高い魚は対象魚からは分けて保管し、クルーの責任で処理する。港に持ち帰った魚はすべて慈善団体に寄付する。
- 14. 魚はスラリーではなく氷の上に保管し、余分な水を吸収したり、脱水によって重量が失われ たりしないようにする。
- 15.対象魚は一切傷を付けてはならない。

. 団体賞:

団体賞として、トロフィーを授与する。団体賞は競技結果、努力とともに、国際親善と友好の精神に基づき、釣りワールドカップの品格を向上させるチームスピリットに対して、大会委員会の判断に従い授与する。

BOAT FISHING RIG

Rods up to 2 metres long are recommended. Reels to hold at least 200 metres of line and have to ability to lift heavy sinkers.

